

環境への取組み・社会との共生

当社グループは『環境経営基本方針』を策定し、事業活動のあらゆる面で環境に配慮する『環境経営』の推進に努めています。また、昨年判明した製鉄所におけるばい煙問題を受け、環境管理体制を再構築し、環境管理の強化にも継続して取り組んでいます。

環境経営基本方針： 『グループ環境経営の実践による企業価値向上』

神戸製鋼グループは、環境先進企業グループを目指して

- ① 環境に配慮した生産活動
 - ② 製品・技術・サービスでの環境への貢献
 - ③ 社会との共生・協調
- を実践することにより、社会的責任を果たすとともに、企業価値を高める。

第7回環境経営委員会の開催

平成19年7月26日に第7回環境経営委員会が開催され、地球温暖化対策をはじめ中期環境経営計画の進捗状況について、活発な議論がなされました。

地球温暖化対策については、生産量が増大する中でも省エネルギーや燃料転換などの対策をさらに推し進め、各部門の自主行動計画の目標を達成すべく取り組んでいくことが確認されました。



環境経営委員会

実施事項

グループ環境経営を推進していくため、2006年度から2008年度の中期環境経営計画を策定し、現在、6つの実施事項「あらゆる面で環境に配慮したものづくりの徹底(地球温暖化対策、循環型社会構築、有害物質削減)」、「製品・技術・サービスでの環境への貢献」、「環境関連情報の開示」、「社会との共生・協調」、「全員参加による取り組みの展開」、「リスク管理の徹底」について展開しています。

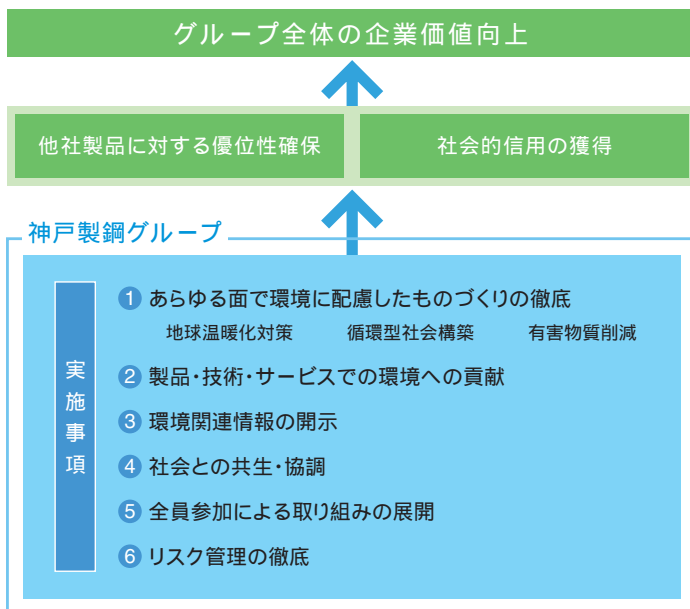
実施事項のうち、重点実施項目を定め、事業所ごとのCO₂排出量、最終処分量の計画的な削減に取り組んでいます。

なお、これらの活動の詳細については、「神戸製鋼グループ環境・社会報告書」などで開示し、ステークホルダーの皆様とのコミュニケーションに努めています。



神戸製鋼グループ
環境・社会報告書2007

グループ環境経営の中期展開



社会貢献への取組み

新潟県中越沖地震の被災者に義援金

平成19年7月16日に新潟県中越沖で発生したマグニチュード6.8の地震は、1,995人の人的被害と39,091棟の住家被害(いずれも10月1日現在)という大きな被害をもたらしました。

当社グループは、平成7年の阪神・淡路大震災で最大級の被害を受けた企業として、当時全国から暖かいご支援を頂き、今日にいたっています。今

回の新潟県中越沖地震において、一日も早く被災地が復旧・復興し、被災された皆様が元の生活に戻られることを願い、当社グループでは、被災者の皆様と被災地に対して、新潟県共同募金会を通じて総額2,000万円の義援金を提供いたしました。

ラグビーを通じての活動

KOBELCOカップ2007 第3回全国高等学校合同チーム ラグビーフットボール大会を開催

当社グループは、ラグビーの普及活動の一環として、平成19年7月20日から7月23日まで「第3回全国高等学校合同チームラグビーフットボール大会」を北海道夕張市にて開催いたしました。大会期間中は、全国9ブロックより選抜された17歳以下代表選手による高レベルの試合や、部員不足の学校の生徒が合同で構成する18歳以下選抜チームの試合を開催しました。また同大会には、夕張市の親子約50名をご招待し、コベルコスティーラーズの選手9名がラグビー教室を催し、楽しくラグビーを体験していただきました。

ラグビー教室終了後は、バーベキュー懇親会を行ない、夕張市の方々と交流会を行ないました。

当社グループは、高校生選手の育成・強化、競技人口の増加、更にはラグビーファン層の拡大を図るために、ラグビーの普及活動を行なっています。



親子ラグビー教室